

氏名	濱 田 清
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1389 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和58年 9 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	A New Method for the Detection of Human Semen by Glycylprolyl Dipeptidyl-Aminopeptidase (GP-DAP)
論 文 審 査 委 員	教授 産賀敏彦    教授 大森弘之    教授 佐伯清美

#### 学位論文内容の要旨

性犯罪や犯罪捜査に関連して、布や紙などに付着した精液斑からの人精液の証明は法医学上極めて重要である。著者は、人精液が高い GP-DAP 活性を示すことから、法医学的応用の立場で各種の実験を行い、次の結果をえた。

人精液の GP-DAP 活性は、他の各種の人体液及び動物精液に比較するとはるかに高く、熱に対しかなり安定で、室温に 9 か月放置の古い精液斑でも高い活性を示すことが明らかになった。また、本酵素の電気泳動像では、他の人体液にはない原点における活性帯が認められ、これは10か月経過の精液斑からも検出された。以上のことから GP-DAP の活性測定および電気泳動分画によるヒト精液の証明は、新しい精液検査法として法医学的に有用であると考ええる。

#### 論文審査の結果の要旨

本研究は、glycylprolyl dipeptidyl aminopeptidase (dipeptidylpeptidase IV) の検出による人精液の証明に関する研究であるが本酵素が法医学領域において有用であることをはじめて明らかにして重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。